

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和5年4月16日(日) (午前・午後) 2時00分 開会 (午前・午後) 4時40分 閉会
開 催 場 所	茨木市役所 南館8階中会議室
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏 (NPO関係者)、藤原直樹氏 (学識経験者)、高田和子氏 (地域活動関係者)、板倉幸司氏 (公募市民) (4人) 【事務局】 山脇共創推進課主幹、吉田共創推進課市民活動グループ長、松井 (3人) 【担当課】 北部整備推進課・人権・男女共生課職員 (2課)
開 催 形 態	原則公開 (傍聴者2人)
議 題 (案 件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配 布 資 料	・第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・令和5年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・応募関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ
河合委員長	公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明 傍聴者入室許可（傍聴者入室） ----- プレゼンテーション開始 -----
団体	【自由テーマ型】 茨木市スポーツ交流事業 追手門学院大学ラグビー部
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・昨年度からの反省を踏まえたこと、前回と比べて異なる点は。 →昨年度想像以上の参加者数だったことから、来場タイミングを参加者によってずらしてもらえるよう工夫する。また、昨年度子どもに楽しんでもらえるコンテンツができなかったなので、そちらを盛り込みたいと考えている。
板倉委員	・対象外経費の参加記念品の費用はどのように賄うのか。 →大学からの運営経費や、カンパ等で賄いたい。 ・継続性のために工夫できることはあるか。 →「たんぼラグビー米」を作ったので、その販売で収益が出れば運営費に充てたい。
藤原副委員長	・参加者数は。 →現時点では 20 チーム、150 名がエントリー。 傍聴者退出
団体	【自由テーマ型】 大岩ほたるの里 復活プロジェクト NPO 法人北摂やままち倶楽部
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・蛍に関するこれまでの活動は。 →昨年度試行的に放流をした。まったくゼロからというわけではない。 ・長期間にわたる事業になると思うので、町ぐるみでの実施が必要では。他の成功事例等知っておくとよいのでは。

	→以前、町ぐるみで成功している自治体に行ったことがあるので、参考にしたい。
団体	【自由テーマ型】 トウモロコシ収穫祭事業 上音羽農業体験交流会
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・今回の申請範囲は。 →あくまで収穫祭のみ。プレゼンでは他への波及効果も含めて説明した。
板倉委員	・継続性が課題。その後の販売なども踏まえて考えてみては。 →トウモロコシは専業農家が多く、「収穫祭」はインパクトがあるが、収穫期間が限られており、なかなか難しい。補助金をもらいながら、補助金なしで運営できる方法を模索していきたい。
藤原副委員長	・ホームページ作成費…昨年度とほぼ変わらないが、今年度も同金額。Facebook の広告等で工夫するなどできないか。 →自団体での HP 作成は難しく、他へ依頼している。広報誌は電話番号必須のためハードルが高い。Facebook、チラシ広報は同時進行で進めていきたい。
団体	【自由テーマ型】 ①森林整備体験及びワークショップ②ミニクロスカントリー大会 上音羽倶楽部
関連課	【関連課 意見】
高田委員	【質疑応答】 ・交通の便の悪さに対するフォローは考えているか？ →阪急バスの臨時便が出せないか試みたが、できないとの回答。車のみを想定している。
板倉委員	・臨時便の件については、相手方に言葉で伝えるだけではなく、今までの実績等踏まえた資料を見せることで説得力があるのではないかと。 →検討する。まず自分たちの取り組みが地域に入っていけるよう努力する。
河合委員長	・各企画の共有方法、コミュニケーションの取り方の工夫はあるか。 →アイデアをまとめ、共有している。
団体	【連携型】 Over Drive（オーバードライブ）茨木市内における女性の活躍の推進と支援に資する事業 つながり てんとてん
関連課	【関連課 意見】

板倉委員	【質疑応答】 ・数団体が連携するが、共通項はあるのか。 →社会に対して疑問を抱えている人が多いというのが各団体の共通項に感じる。ここに来たら解決できるのではないかと、という空間にしたい。
藤原副委員長	・補助金が出なかったらどうするか。 →人件費が出せないで、スタッフはボランティアで考えている。また、入りロゲートとなる看板を作りたいが、補助金がないと作れないので、補助金があればチラシを貼るといった形になると思う。
板倉委員	・作成する看板には何を書くのか。 →あなたも一緒に参加しませんか？など活動への参加者を募集するものにしたい。 ・もう少しどんな活動に参加できるのかを示してあげた方が良いのでは。 →マルシェをやりたい人にはマルシェを既にやってる人の紹介、環境に関することをやってみたい人には環境に関する活動を行っている人の紹介ができる。
河合委員長	・申請書からその意図が読み取れないので事業計画書には詳しく書いてほしい。
団体	【人権・男女共同参画推進事業】 2023 年度茨木市「非核平和展」事業への協力 子どもたちと考える「戦争と平和」in 茨木実行委員会
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・今年度特に力を入れる部分は。 →細かくはまだ詰められていないが、状況にあった企画にしたい。
板倉委員	・茨木市が主催ということだが、どのような役割分担となっているのか。 →どのような役割分担にするかを打合せの上で分担する。 ・昨年度の来場者数は →1,000 名程度。
藤原副委員長	・アンケートの結果を事業に活かしている部分はあるか。 →大きく変えている部分は特にない。
河合委員長	・講師は目途がついているのか。 →まだ決まっていない。
団体	【人権・男女共同参画推進事業】 お盆タイム 特定非営利活動法人ニジュエル
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】

藤原副委員長	・DMはどこに配布しようと思っているのか →ローズWAM周辺の住居を考えている。
高田委員	・ターゲットとなる小学校高学年の子どもがいる家庭か分かるのか。 →分からない。方法は今後検討する。
板倉委員	・DMだけでは厳しいと思う。関係機関にチラシを置く方が良いのでは。社会教育振興課等とも連携しながら、小学校で配布すると目に留まりやすいのでは。 →検討する。 ・小学高学年をターゲットとする理由は。 →学童保育がなくなる年齢のため。 ・どういう中身なのか親は気になると思う。どんな内容にしようと考えているのか。 →ミュージカルを通して学んでもらいたいと考えている。
団体	【人権・男女共同参画推進事業】 NPO法人わんだーらんど こどもが安心して過ごせる第3の居場所づくり事業
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・アートが出てきた理由は。 →茨木市でアートイベントが行われていたことから力を入れている分野だと感じたことと、学生ボランティアの発案。
高田委員	・夏に7時までというのは1人で出歩くには遅いのではないかな。 →送迎必須とする予定。
藤原副委員長	・受益者が10名と少ないが、どう考えているか。 →周知を行うとともに、より多くの子供が参加できるよう、今後受け皿となるスタッフを確保する工夫に努めたい。
事務局	他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。
河合委員長	事務局から連絡事項はないか。 次回は、4月21日、午後5時から、市役所南館8階で開催予定。 以上で、第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。